

にほん 日本のスーパー

URL: <https://youtu.be/3-K7ipc-QdU>

こんかい にほん まな にほんご べんきょう
今回は「日本のスーパー」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があり
ます。
こうはん すこ はや かんじ
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
がくしゅう やくだ
学習にお役立てください。

わたくし ■私のこと

わたくし なまえ たかだ
私の名前は、高田さくらです。
おおさか まち す
大阪の町に住んでいます。
よ にん ちち はは せいかつ
四人かぞくで、父と母と、弟がいます。みんなで仲よく生活しています。
わたくし か もの す
私は、買い物が好きです。とくに、スーパーに行くのが好きです。
スーパーには、いろいろな物があるので、行くたびに新しい発見があります。
まいしゅう にち び はは
毎週、日曜日になると、母といっしょにスーパーに行きます。ときどき、父
や弟もいっしょに行きます。

スーパーでは、み たの
見ているだけでも楽しいです。やさいやくだものがきれいにお
いてあります。
おにぎりやべんとうもならんでいて、いいにおいがします。どれを買おうか、
まよってしまいます。
はは ひ い やす
母はよく「とくばい」の日をねらって行きます。安くなると、うれしいです。
スーパーでの買い物は、私にとって大切な時間です。

スーパーに行くとい にほん た もの なまえ おぼ にほん せいかつ まな
スーパーに行くと、日本の食べ物の名前を覚えたり、日本の生活について学ん
だりできるとおもいます。
これから、まいしゅう い たの
これからも、毎週スーパーに行くのが楽しみです。

■スーパーには何があるの？

スーパーには、いろいろな物があります。
まず、食べ物です。やさいやくだものは、色がきれいでしんせんな物が多いです。にんじん、たまねぎ、じゃがいもなど、よく使うやさいがなっています。

魚もたくさんあります。さしみとして食べる物や、火でやいて食べる物もあります。日本のスーパーでは、魚をその場で切ってくれる店もあります。これはとてもべんりです。
肉も人気があります。牛の肉、ぶたの肉、とりの肉などがあります。カレーやなべに入れるとおいしいです。

つぎは、できあがった食べ物です。おにぎり、べんとう、あげ物などがあります。べんとうはごはんとおかずがいっしょに入っていて、すぐに食べられます。あげ物はからあげやコロッケなどです。店の中はいいにおいがします。

日用品もあります。トイレットペーパーやせんざいなど、家で使う物です。せんざいは、ふくやさらをあらうために使います。

お店によっては、その町だけで見られるとくべつな物もあります。たとえば、近くの工場で作ったおかしや、町でとれたやさいです。こういう物は、日本の中でも、そこに行かないと買えません。

このように、日本のスーパーには、食べ物だけでなく、日用品やとくべつな物もそろっています。どの店も見ているだけで楽しくなります。

■人気の食べ物って何？

日本のスーパーでは、毎日多くの人^{ひと}が買^かう人^{にんき}気^たの食^{もの}べ物^ながあります。
その中^{なか}で、よく見^みられるのが「米^{こめ}」です。米^{こめ}は日本^{にほん}の主^{おも}な食^たべ物^{もの}です。ごはんとして食^たべたり、おにぎり^{おにぎり}にしたりします。

「みそ」もとてもよく使^{つか}われます。みそは、大豆^{だいず}から作^{つく}られるち^ちょうみり^{ょう}ょうです。みそしるにしたり、やさいにまぜて使^{つか}ったりします。

「しょうゆ」も日本^{にほん}のくらしにはかかせません。しょうゆは、しお^{あじ}のような味^{あじ}がする、黒^{くろ}い色^{いろ}をしたえきたいのち^ちょうみり^{ょう}ょうです。
さしみ^{さしみ}や、やき魚^{さかな}、にものな^などに使^{つか}います。

「とうふ」も人^{にんき}気^たがあります。とうふは白^{しろ}くてやわらかい食^たべ物^{もの}です。水^{みず}と大豆^{だい}から作^{つく}られています。みそしるに入^いれたり、そのまま食^たべたりします。

「な^{だいず}とう」は、大豆^{だいず}をはっこ^{はっこ}うさせ^たた食^たべ物^{もの}です。ねばねばして^{ねばねば}いて、にお^{にお}いが強^{つよ}いですが、体^{からだ}にいいのでよく食^たべられます。

ほかに、よく見^みかけるお^おかず^{かず}があります。「つけ^{つけ}もの」は、やさいをしお^{しお}やしょうゆ^{しょうゆ}でつ^つけた物^{もの}です。ごはんといっしょに食^たべるとおいしいです。

「やき魚^{さかな}」は、魚^{さかな}を火^ひでやいた料^{りょう}理^りです。あじ^{あじ}やさけ^{さけ}など、いろい^{いろ}ろな魚^{さかな}があ^あります。日本^{にほん}の朝^{あさ}ごはん^{ごはん}に出^でることがお^おお^おい^いです。

「てんぷ^{さかな}ら」は、やさいや魚^{さかな}をあぶ^{あぶ}ら^らであ^あげ^あた物^{もの}です。サクサクして^{サクサク}いて、と^とても人^{にんき}気^たがあります。

また、かん^{かん}たん^{たん}に使^{つか}えるち^ちょうみり^{ょう}ょうもた^たくさん^{さん}売^うられています。た^たとえ^えば、ふん^{ふん}まつ^{まつ}タイ^{タイ}プ^プのすし^{すし}酢^すや、な^なべ^べ用^{よう}のスー^{すー}プ^ぷなど^{など}があ^あります。これ^{これ}らは料^{りょう}理^りが^が苦^く手^てな人^{ひと}でもす^すぐに^に使^{つか}えて、た^たすか^かります。

このよう^{よう}に、日本^{にほん}のスー^{すー}パ^パー^ーには、毎^{まい}日^{にち}の食^{しょく}事^じに^に使^{つか}える物^{もの}がた^たくさん^{さん}あ^あります。見^みてい^いるだ^だけ^けでも、日本^{にほん}の食^たべ物^{もの}を^を学^{まな}ぶこ^ことが^がで^でき^きます。

■ きせつでかわる食べ物

日本のスーパーでは、きせつによって食べ物が変わります。
それぞれのきせつに合った物が出るので、店に行くのが楽しくなります。
お正月のじきに、よく見かけるのが「おせちりょうり」です。おせちは、きれいなほこにいろいろな食べ物がつめられています。れきしがある料理で、年のはじめに食べるといいことがあると言われています。

夏になると、体をひやす食べ物の人気になります。「そうめん」は、白くてほそいめんです。水でひやしてから、つめたいつゆにつけて食べます。かんたんに作れて、すずしくなるので、人気があります。
「すいか」も夏の楽しみです。大きくて赤いくだものです。水分が多くてあまいので、あつい日に食べるとおいしいです。

秋には、「くりごはん」が出てきます。くりは、山でとれる茶色い実です。米といっしょにたくと、あまくてほくほくしたごはんになります。秋の味を楽しめます。

「やきいも」も秋の人気メニューです。さつまいもを火でやいて作ります。あつくてあまく、かおりもよいので、子どもから大人まで大好きです。

冬には、あたたかい食べ物がよく売られます。「なべ」は、肉ややさい、とうふなどをいっしょに大きななべでにた料理です。かぞくで食べることが多いです。

「みかん」も冬によく食べられます。オレンジ色のくだものです。かわを手でむいて食べます。あまくてすっぱく、ビタミンが多いので、体にもいいです。

このように、日本のスーパーでは、きせつに合わせていろいろな食べ物が出ます。きせつのたのしみを、食べ物を通してかんじることができます。

■^{やす}安くなる^{じかん}時間

^{にほん}日本のスーパーには、^か買^{もの}い物^がが^{たの}たのしくなる^{くふう}工夫^ががあります。
その中^{なか}で、よく^み見^{やす}られる^{じかん}のが「安くなる時間」です。

^{ゆうがた}夕方^{になると}になると、おにぎりやべんとう、^{もの}あげ物^{やす}などが安くなります。
パッケージにねびきの「シール」がはられて、もとのねだんから安くなるので
す。
このシールには、「はながく」や「^{さんじゅうえん}三十円引き」などと^か書^{いて}いてあります。
はった^{とき}時に、ねだんがわかるようになっています。

^{はは}母^{はこの}この^{じかん}時間^{をよく}よく^し知^{いて}っていて、^{やす}安^{くな}くなってから^か買^おう^{こと}ことが多^いいです。
わたしもいっしょに行^{って}て、「^{やす}どれが安^いかな」と見^みながらえらびます。
いつもと同じ物^{もの}でも、^{やす}安^かく買^ええると、^{なん}な^んだ^かう^れれしくなります。

とくべつな^ひ日^{には}には「とくばいび」があります。
この^ひ日は、^{たくさん}たくさんの^{もの}物^{やす}が安^あくなっていて、^{あさ}朝^{から}から^{きやく}お客^{さん}さんがいっぱい^{です}です。
とくに、^{にち}日^{よう}日^びや^{しゅう}週^{のは}はじめ^{おこな}に行^おわ^れれる^{こと}ことが多^いいです。

また、「ポイントカード」というカードを^{つか}使^うと、^か買^{もの}い物^をする^{たび}たびに^{ポイン}ポイント^ががた^まります。
ポイントが^{たくさん}たくさん^{たま}ると、^{つぎ}次^かの^{もの}買^{つか}い物^でで^{つか}使^うことが^{でき}ます。
とてもべん^きりで、おとく^なな^き気^{もち}もちになります。

このように、^{にほん}日本のスーパーでは、^ひじき^や日^{によ}によって^{やす}安^くなる^{しく}しく^みみ^があり^ます。
^か買^かい^か方^をを^{少し}少し^し知^って^おく^とと、^{かし}か^しこ^くく^買い^か物^がが^{でき}る^{よう}よう^にに^なります。

■ スーパーのちがいをくらべてみよう

日本には、いろいろなスーパーがあります。
それぞれにちがうよさがあるので、くらし方に合った店をえらぶことができます。

まず、大きなスーパーです。たとえば「イオン」や「イトーヨーカドー」などがあります。

大きなスーパーには、食べ物だけでなく、服や文ぼう具、くすりなどもあります。
一つの店で、いろいろな買い物ができるので、かぞくで行く人が多いです。

つぎは、ちいきのスーパーです。これは、町の中にある、小さめのスーパーです。

とおくまで行かなくても、家の近くで買い物ができます。
店の人とお客さんのかんけいが近く、話しやすいところも人気です。

「ぎょうむスーパー」もあります。ここでは、大きなつつみに入った食べ物が多く売られています。

たとえば、カレーのルーが五こ入り、やきそばが十食入りなどです。
たくさん買って、すこしずつ使う人や、かぞくの多い人にとってとてもべんりです。

外国の食べ物を買えるスーパーもあります。

パスタやチーズ、たれやスープなど、日本ではあまり見ない物がならんでいます。

外国から来た人は、なつかしい味に出会えることもあります。

日本の人も、新しい味をたのしむことができます。

このように、日本のスーパーには、さまざまなタイプがあります。
ちがう店に行ってみると、新しいはっけんがあるかもしれません。

■スーパーで気^きになること・べんりなこと

日本^{にほん}のスーパーには、ほか^くの国とちがうことがいくつかあります。
はじめて行く人^{いひと}にとって、おどろくことや、べんりだとかんじることがあります。

一つ目は、レジぶくろが有^{ゆう}料^{りょう}なことです。
むかしは、レジぶくろを無^む料^{りょう}でもらえました。
でも今は、お金^{いま}を出^いして買^かうことが多^{おほ}いです。
自分^{じぶん}でエコバッグを持^もって行く人^{いひと}もふえています。

二つ目は、セルフレジがあることです。
セルフレジでは、自分^{じぶん}でしょうひんのバーコードをスキャンし、お金^{かね}をはらいます。
やり方^{かた}はかんたんで、店^{みせ}の人^{ひと}も近^{ちか}くにいて、わからな^{おし}いときは教えてくれます。
人^{ひと}と話^{はな}すことが少^{すく}なく、すばやくしずかに買^かい物^{もの}ができるべんりなしくみです。

三つ目は、ししょくコーナーがあることです。
ししょくとは、買^かう前^{まえ}にすこしだけ食^たべてみることです。
味^{あじ}をためしてから買^かえるので、まちがい^{すく}が少^{すく}くなります。

四つ目は、魚^{さかな}をその場^ばでおろしてくれることです。
大^{おお}きな魚^{さかな}を買^かうと、店^{みせ}の人^{ひと}がきれいに切^きってくれます。
家^{いえ}に帰^{かえ}ってからすぐに料^{りょう}理^りができて、とてもべんりです。

さいごは、しはらいのほうほうです。
日本^{にほん}では、げんきんを使う人^{つかひと}が多^{おほ}いですが、カードやでんしマネーも使^{つか}えます。
好^すきなほうほうをえらべるので、買^かい物^{もの}がしやすくなっています。

このように、日本^{にほん}のスーパーには、かんたんでべんりな工夫^{くふう}がたくさんあります。
ちがい^しを知^しると、日本^{にほん}のくらしがもっとおもしろくなります。

■スーパーでわかる日本の暮らし

日本のスーパーに行くと、日本の暮らしがよくわかります。
何を食べているのか、どんなことを大切にしているのかが見えてきます。

まず、食べ物を見ると、日本人が何をよく食べているかがわかります。
米やみそ、しょうゆなど、日本の食文化にとって大切な物がなっています。
とくに、やさいや魚が多いので、体にいい食事を大切にしていることがわかります。

つぎに、きせつのうつりかわりもかんじられます。
春にはさくらのおかし、夏にはすいかやそうめん、秋にはくりやまつたけ、冬にはなべの材料が出てきます。
スーパーに行くだけで、きせつの楽しさが見えてきます。

また、スーパーのサービスからも、日本の生活スタイルが見えます。
きれいなしょうひんだなやていねいなことばづかいから、人にやさしい心が伝わってきます。
シールでねだんがさがる時間や、ポイントカードなどのしくみも、日本の人が
じょうずにお金を使っていることを教えてくれます。

スーパーは買い物をするだけの場所ではありません。
そこには、たくさんの生活のちしきや考え方がつまっています。
ちがう店に行って、ちがう町の暮らしを見てみると、新しい発見があります。

日本のスーパーを通して、日本の暮らしを楽しく学ぶことができます。
買い物をしながら、日本をもっと近くにかんじてください。

「日本のスーパー」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI